

Trimble Business Center Ver.2024.11 アップデート概要

2025年2月

本書では、このバージョンの Trimble Business Center に含まれる国内業務に関する新機能を紹介します。Trimble Business Center の基本機能に関する新機能および改善内容につきましては、アプリケーションのリボンメニューより、サポート>リソース>リリースノート を参照してください。

J-LandXML Ver.1.6 について

J-LandXML Ver.1.6 の主な変更内容

J-LandXML (正式名称 : LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準(案)) Ver.1.6 の、Ver.1.5 からの主な変更点は以下の3つです。

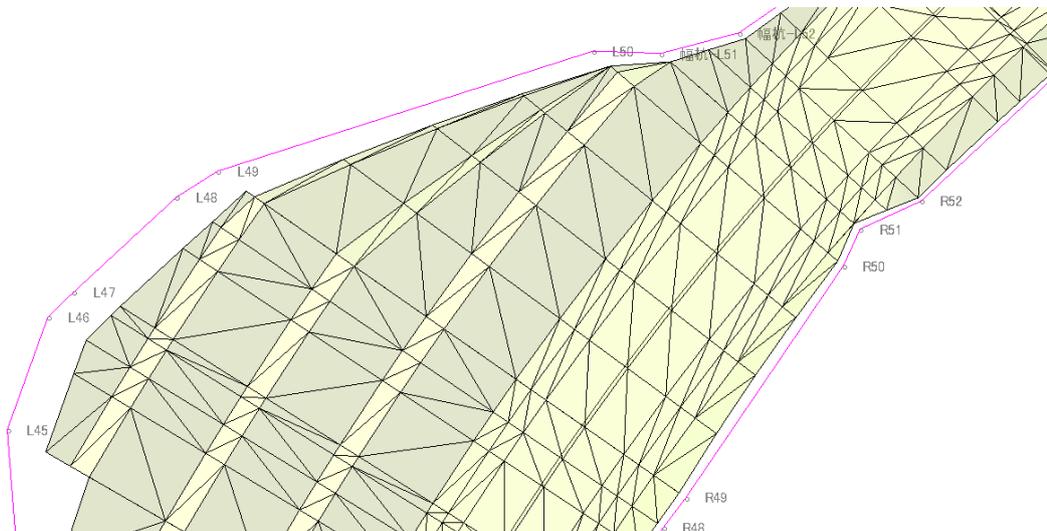
- ① 座標点情報セットを使った幅杭座標情報の追加
- ② 要素種別サーフェスのフィーチャを使ったサーフェス領域の情報の追加
- ③ 要素種別サーフェスの面の表示属性を使った非表示面の情報の追加

J-LandXML インポートの改良

リボンメニュー>ホーム>データ交換>インポート

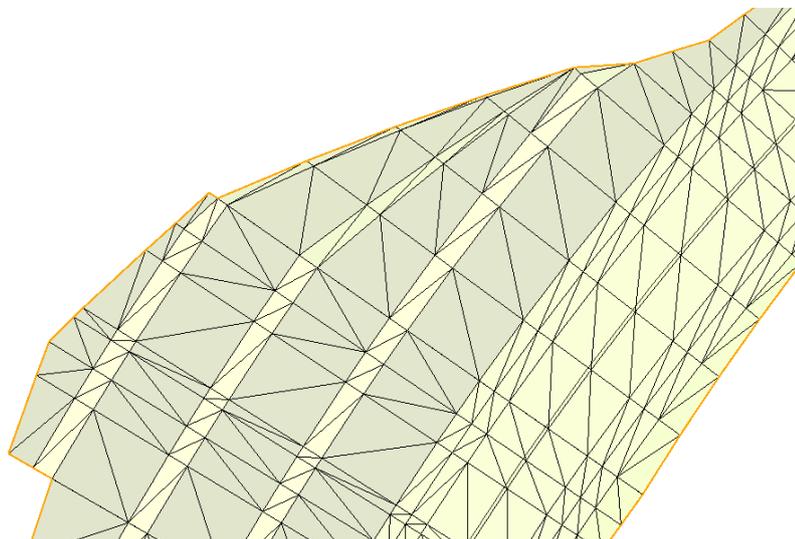
幅杭座標情報の読み込み

幅杭座標情報を含むファイルをインポートすると、幅杭の構成点をポイントとして登録し、構成点の接続をラインストリングで登録します。構成点と幅杭線を異なるレイヤに登録するため、表示フィルタマネージャを使って、様々な表示状態に簡単に切り替えできます。



サーフェス領域情報の読み込み

サーフェス領域情報を含むファイルをインポートすると、領域線をラインストリングで登録し、それを面の境界線として登録します。面の境界線が登録されると、境界線の外側に三角形があっても、それらは非表示になります。



非表示面の読み込み

非表示面情報は、J-LandXML で新しく導入された定義ではなく、LandXML1.2 で定義されている内容を J-LandXML として利用することを宣言したものとなっています。Trimble Business Center では以前から非表示面を読み込まないように対応していたため、特別な改良は今回のバージョンアップでは行っていません。

J-LandXML エクスポートの改良

[リボンメニュー](#) > [ホーム](#) > [データ交換](#) > [エクスポート](#) > [コンストラクション](#) > [J-LandXML エクスポートユーティリティ](#)

幅杭座標情報の書き出し

以下の条件を満たすラインストリングを幅杭座標データとして出力することができます。

- ◆ 全てのセグメントが「直線」タイプである
- ◆ 全てのセグメントのポイントがポイント ID で指定されている

水平 垂直

現在のセグメント:
← 編集 →

セグメント
タイプ:
直線

開始ポイント
タイプ:
ポイントID
ポイントID:
L1

